

レジメン名

TC(PTX+CBDCA)療法

出典 JGOG2043試験、JGOG2041試験
子宮体がん治療ガイドライン
改訂第2版 誰も救えてくれなかった婦人科がん薬物療法

実施部署区分

☒入院 ☐外来 ☐処置

対象疾患

子宮体癌

☒進行・再発
☒補助療法(術前・術後)
☐初発
☐

投与減量の基準

ANC	FN あるいは 500/mm ³ 未満が7日間以上持続する	CBDCAを減量 1段階減量:AUC5 2段階減量:AUC4
PLT	2.5万/mm ³ 未満 または出血を伴う5万/mm ³ 未満	
AST	200IU/L以上*	PTXを減量 1段階減量:135mg/m ² 2段階減量:110mg/m ²
ALT	200IU/L以上*	
ALP	500IU/L以上*	
T-Bil	3.6mg/dL以上*	
末梢神経障害	Grade2以上	

*Grade3を参考に設定。

投与中止の基準

ANC	1,000/mm ³ 以下	PLT	5万/mm ³ 以下
その他	Grade2以上の末梢神経毒性		

1クール期間

21日

総クール数

6コース

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
パクリタキセル	175mg/m ²	生食500mL	180分	d1
カルボプラチン	AUC5※	5%TZ250mL	60分	d1
BMIや血清クレアチニン値0.6未満による補正は行わず、上限値を設ける（下記参照）。安定性の観点から、カルボプラチンの希釈液は5%TZを基本とする。 ※CBDCAの投与量上限は、AUC 4=600mg、AUC 5=750mgとする。				

1日投与順 (経時的にプレmedikation・ポストmedikation、溶解液まで含む)
<内服> day1-3 アプレビタントカプセル(125-80-80) day1は化学療法開始1時間前、day2,3は朝食後
<DIV> day1 ①アロキシ0.75mg/バッグ+デキサート16.5mg+ボラミン5mg+ファモチジン20mg(15min) ②パクリタキセル175mg/m ² +生食500mL(3hr) DEHPフリーのインラインフィルターを用いて投与 ③カルボプラチン(AUC5※)mg+5%糖液250mL(1hr) ④生食50mL/フラッシュ用